

日本共産党 和歌山市公議員

# ひめだ高宏ニュース

No. 1201

18. 5. 22

## 快進撃 藤井聡太プロクワ段に

16年、中学生でプロ棋士デビュー(4段)した堺棋の藤井聡太プロは順位戦全勝で2月15日。16日。後15段昇段後、全棋士参加の朝日杯で優勝し6段に。5月、竜王戦5組の決勝戦に勝ち進んだことで7段に昇段しました。赤旗の新人王戦は今期1期で卒業です。ぜひ優勝してほしいと思います。

## カギの会 市政改革シンポジウム

5月9日(水)活気ある住みよい和歌山市をつくる会(市つくる会)はプロダホープで和歌山市政改革シンポジウムを開きました。開会あいさつで藤浦龍彦

代表委員は、尾花市政は市民にやさしい市政になっていないと述べ和歌山市長選に立候補を表明している島くみこ氏と政策協定を結んだことを報告し、全力をあげ

げようと呼びかけました。井つくる会が取り組んだ市民のくらしアンケートの中間集約と市つくる会が市議員選挙にのぞむ基本政策が提案されました。

冬分野からの参画について

日本共産党の中村あさこ市議は公立の2保育所・3幼稚園を1か所の認定こども園にする計画について、市民は納得していないと批判しました。カジノ問題を考える和歌山ネットワークの畑中正好さんは、知事や市長が誘致しようとしているカジノ施設は、百鬼あって一利ないと訴えました。山林を公営に破壊して建設計画している産業廃棄

物最終処分場やメガソーラー施設建設に反対している。カタ、市民の命に直結する病院のベッド数削減について、介護保険の利用制限や国民健康保険料の増納取り

立てに闘い、差し押さえなど市の厳しい対応などについての苦情。子どもを貧困に陥れて、市の就学援助が県下最低レベルとの指摘もありました。

## 今週のフツの人々 (その147)

### 「働き方改革」法案

「改革」と言っても言葉だけに引かずら水ないで誰のために何の目的で、つきつめて考えないとゴダイゴになります。「働き方改革」というのは、働き方を良くしようというふうな言い方で、すが、実際は財界・大企業のための「働かせ方改革」です。残業時間の上限を月100時間にとり、一定の年収の専門職を労働時間規制の対象から外

すとか、過労死の合法化・促進だと日本共産党は批判しています。しかも法案の出发点となった厚労省のデータは間違ったものでした。労働者保護を第一に考えるべき省庁が、財界や大企業の側に立って法律をつくらうとするから、こんな逆立ちしたものになるのです。

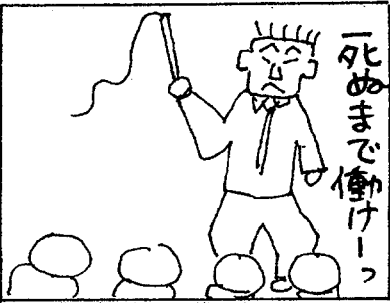
この逆立ちを進めようというのが自公維希の4党です。こんな政治は「アリ」ではなく、ナシに!!



ひめだ高宏

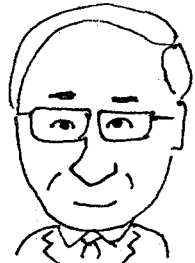


フツの人々 (984) 働き方法案 修正の合意 自公維希



# 参院選挙区候補に前久さん

日本共産党和歌山県委員  
会は5月11日(金)来月7  
日の参議院選挙和歌山選挙  
区候補に前ひさしさんを選  
挙することを発表しました。



**前久 久**  
前 久 久  
党 員  
1992年と1995年  
参院選挙区候補

前ひさしさんは、アベ自  
公政権による憲法破壊をき  
びしく糾弾。朝鮮半島の完

全な非核化を含む恒久的な  
平和体制を掲げる和歌山宣  
言を評価する一方、北朝鮮  
問題に圧力一辺倒のアベ首  
相を批判。改選・隠微い  
ぬつ造、セクハラ、シビリ  
ア・コントロロールの危機の  
アベ政権は、もろ退場する  
しかないと強調しました。

選挙死を加害させる「偽  
改革」や選挙増税に  
強く反対し、和歌山ゼロ・社

会保障の充実のため全力を  
あびる決意を表明。住民が  
強く反対している和歌山市  
の産業廃棄物最終処分場計  
画や山林を大きく削るメガ  
ソーラー計画、巨大風力発  
電計画をストップさせるた  
め力を尽くし、知事や市長  
が進めるカジノ施設を断り  
てはならないと訴えました。

和歌山県委員は、「市民  
と野党の共闘でアベ政権を  
退陣に追い込みたい」と述  
べました。

## 松坂みち子

川上村へ

新緑の川上村へ紀の川  
の源流の村へ行ってき  
ました。山を見ていると  
いったい水だけの「緑  
」があるのか不思議な気  
持ちになってきます。い

ろんな緑が自分の色を主張  
するかのよんに感じ上がり、  
山を形作っています。  
そんな風景の中に、旧  
白屋地区があります。大滝  
ダム建設の際、全軒移転を  
余儀なくされた地区です。  
石垣の残る風景を残すこと  
始まった「未来への風景づ  
くり」プロジェクトに市議  
会も参加しています。

去年に続き草刈りをし  
ました。日差しと吹く風  
さめやかな緑に囲まれて、  
気持ちよく作業は進いま  
した。ただ、慣れない草  
刈りに後の腰痛だけがに  
配です。



**松坂みち子**  
(県議予定候補)

## 潮流

16. 5. 20 日刊

セオドア・ルーズベ  
ルト米大統領が19  
05年、ある大学ス  
ポーツの禁止をほの  
めかしました。その年に死  
者18人、重傷者159人が  
出て社会問題化していたか  
らです。▼アメリカンフット  
ボールは当時、黎明期。粗  
暴な危険な試合が頻発して  
いました。ルール変更や安  
全な用具開発などが提起さ  
れ、なんとか存続へ。この  
とき危険な密集プレーを減  
らすため、前方へのパスが  
認められませんでした▼そのパス  
フットが波紋を広げていま  
す。日本大学の選手が関西  
学院大学の選手に、悪質な  
タックルだけがを負わせた  
問題は19日、日大の内田正  
人監督が辞任を表明する事  
態となりました▼プレーと  
関係ない場で、相手の背後  
から突っ込む無謀な行為。  
「ああいうのを認めるとま  
つとスポーツではなくなる

」と関大から強い抗議を  
受け、説明が求められてい  
ました。辞任は「ごく当然  
のことです」。それほど  
競技に泥を塗るつもりだ  
からです▼競技規則の冒頭  
には「フットボール綱領」  
とありますがあります。そ  
こには「改選に相手を傷つ  
けることは絶対に許されな  
い」といったフェアプレー  
が説かれています。コーチ  
の倫理として「意図的な乱  
暴な行為を教えることは…  
」。フットボールの道徳の低下を  
もたらし、とあります▼今  
回の事態に至ったのはなぜ  
か。監督の指示はなかった  
かなど真相説明が次なる作  
業です。内田監督は後日「  
文書で」としています。求  
めらるるのは事実だと思います  
る結果として「綱領」の精神  
です。信頼回復はそれ以外  
にありません。

⑤22日、和歌山生が記者会  
見。経緯を説明し、謝罪。